

平成29年3月13日
一般社団法人不動産協会

『不動産協会賞』決定

一般社団法人不動産協会（理事長：木村恵司 三菱地所会長）では、『不動産協会賞』を決定いたしました。

『不動産協会賞』は、不動産協会の社会貢献活動の一環として、日本経済や国民生活に関する著作物の中から、世の中の多くの方々に読んでいただくことにより、当協会が直面する幅広い課題についてご理解をいただくのに資する著作物を表彰するものです。

著作のジャンルは、「国際競争力を高める都市再生」「良好な住宅ストックの形成」「防災・減災」「環境問題」「持続可能なまちづくり」「コンプライアンス」「法制度」「エネルギー問題」など、幅広い分野の著作物を対象としています。

《第7回『不動産協会賞』受賞作品》 （著者 五十音順）

○ **スポーツ都市戦略 2020年後を見すえたまちづくり**

（原田 宗彦 著・学芸出版社）

○ **現代建築のトリセツ 摩天楼世界一競争から新国立競技場問題まで**

（松葉 一清 著・PHP新書）

○ **ポートランドー世界で一番住みたい街をつくる**

（山崎 満広 著・学芸出版社）

第7回『不動産協会賞』受賞作品

(著者 五十音順)

『スポーツ都市戦略 2020年後を見すえたまちづくり』

著者：原田 宗彦 (ハラダ ムネヒコ) [早稲田大学スポーツ科学学術院教授]

出版社：学芸出版社

内容：地域経済の活性化、スポーツツーリズム、スポーツコミッションの設立など、オリンピック・パラリンピックが終わった後の日本における課題を見越して、ソフト面からまちづくりを考えていくべきという本作品の問題提起は、これからのまちづくりにおける付加価値を考えるにあたり、貴重な視点を提供してくれる一冊である。

『現代建築のトリセツ 摩天楼世界一競争から新国立競技場問題まで』

著者：松葉 一清 (マツバ カズキヨ) [建築評論家／武蔵野美術大学教授]

出版社：PHP新書

内容：これまでの現代建築の歴史だけではなく、新国立競技場問題等のタイムリーな話題まで取り上げ、建築物を通して俯瞰的な切り口でまち・社会を語っている。加えて建築という必需品でありながらも芸術性という観点で記されたその語り口は興味深く、広く多くの方々に読んでいただきたい作品である。

『ポートランドー世界で一番住みたい街をつくる』

著者：山崎 満広 [ポートランド開発局 国際事業開発オフィサー]

出版社：学芸出版社

内容：全米で一番住みたい都市No.1に選ばれる話題のポートランドについて、自ら開発局に在籍する著者ならではの視点で、細かな所まで切り込んで著されている。これからの日本における都市のあり方を考えるにあたって、参考に資する作品である。

■一般社団法人不動産協会について

一般社団法人不動産協会（理事長：木村恵司 三菱地所会長）は、まちづくりや良質な住宅供給、オフィスビルやショッピングセンターの整備・管理運営を行う不動産事業者の団体です。
（会員企業153社）

■「不動産協会賞」選考委員

（敬称略）

青山 侖（座長）	明治大学公共政策大学院 教授
田中 里沙	事業構想大学院大学学長・宣伝会議取締役メディア情報統括
増田 寛也	東京大学公共政策大学院 客員教授・（株）野村総合研究所 顧問
三橋 博巳	資産評価政策学会会長・（公社）日本不動産学会顧問
川本 正一郎	三井不動産（株）専務執行役員
小澤 克人	東京建物（株）常務執行役員
内田 要	（一社）不動産協会 副理事長専務理事

〔本件に関する問合せ先〕

〒100-6017 東京都千代田区霞が関3-2-5（霞が関ビル17階）
一般社団法人不動産協会 担当：大西、東田、栗原、飛田、渡邊
TEL：03-3581-9421 FAX：03-3581-7530

以上